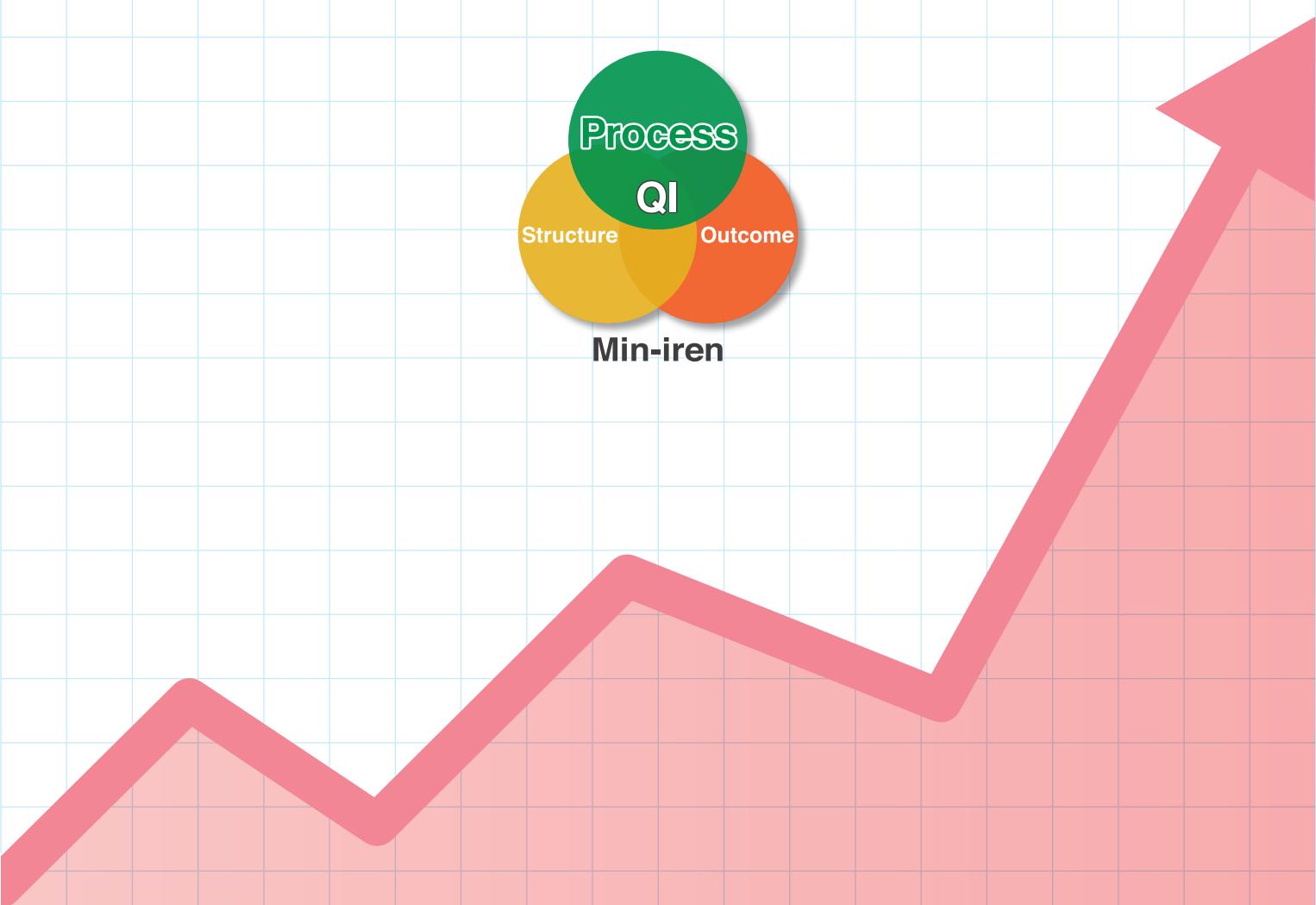
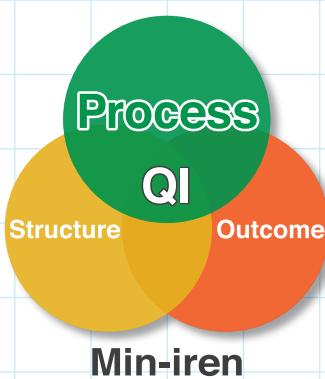


全日本民医連 2014年

# 医療の質の向上・ 公開推進事業報告



全日本民主医療機関連合会  
全日本民医連 診療情報活用・質向上(QI)委員会

*QUALITY INDICATOR·IMPROVEMENT*

はじめに	02
外部評価委員考察	03
参加病院基本情報一覧	08
共通分母	10
<b>I . 病院全体・医療安全・感染管理</b>	
★ 指標 1 A) 医療保険適用病床における身体抑制患者 1 人あたり抑制日数、 B) 医療保険適用病床における抑制割合	11
★ 指標 2 褥瘡新規発生率	16
★ 指標 3 退院後 42 日以内の緊急再入院割合	21
★ 指標 4 死亡退院患者割合(精死亡率)	25
★ 指標 5 剖検率	31
指標 6 100 床あたり A) 採用薬品数、B) 新規採用数	
指標 7 退院後 2 週間以内のサマリー記載割合	
指標 8 職業歴の記載率	
指標 9 クリパス使用率	
★ 指標 10 A) 入院患者の転倒・転落発生率、B) 治療を必要とする転倒・転落発生率 C) 損傷レベル 4 以上の転倒・転落発生率	54
指標 11 注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの血液暴露事例件数	
指標 12 中心静脈カテーテル関連血流感染	
指標 13 総黄色ブドウ球菌検出患者の内の MRSA 比率	
指標 14 アルコール手洗い洗剤使用割合	
<b>II . 手術関連</b>	
★ 指標 15 予定手術開始前 1 時間以内の予防的抗生素投与割合	81
指標 16 悪性腫瘍手術における術中迅速病理標本作成割合	
★ 指標 17 A) 入院手術患者の術後 48 時間以内緊急再手術割合、 B) 一入院期間中の手術後 30 日以内緊急再手術割合(手術後 48 時間以内含む)	90
<b>III . 救急医療</b>	
★ 指標 18 救急車受け入れ割合	95
★ 指標 19 心肺停止で救急搬入された患者の A) 心拍再開割合・B) 心拍再開し生存退院した割合	102
<b>IV . 個別疾患</b>	
★ 指標 20 市中肺炎患者死亡率(成人)	107
★ 指標 21 胃がん手術後平均在院日数	116
★ 指標 22 急性心筋梗塞患者に対する入院後 24 時間以内のアスピリン処方率	120
★ 指標 23 糖尿病の患者の血糖コントロール	124
指標 24 高齢者への認知機能スクリーニングの実施	
★ 指標 25 リハビリテーション実施率	133
★ 指標 26 ケアカンファレンス実施割合	137
指標 27 誤嚥性肺炎に対する嚥下評価・訓練実施割合	
<b>V . 地域連携に関する指標</b>	
★ 指標 28 A) 紹介患者率、B) 逆紹介患者率	145
★ 指標 29 回復期リハビリ病棟の在宅復帰率	150
指標 30 退院時共同指導料算定率	
<b>VI . 人権の尊重</b>	
指標 31 医薬品副作用被害救済制度申請数	
指標 32 社会資源活用により療養支援できた相談者の割合	
指標 33 カルテ開示数	
<b>VII . 患者満足度</b>	
★ 指標 34 患者アンケート総合評価で「満足している」と答えた患者の割合 A) 入院患者、B) 外来患者	170
★ 2014 年一般公開指標	

# はじめに

全日本民医連QI委員会委員長 堀口信

今回で4回目となる、「全日本民医連 医療の質の向上・公開推進事業」(QI事業)2014年の集計結果がまとめました。

## <厚労省事業の評価結果報告>

今年度は、厚生労働省の推進事業について、「卒業」の評価を得て応募を辞退しています。平成25年度医療の質の評価・公表等推進事業に係る事後評価結果の中では、高く評価できる点として、Webによる事業推進をすすめており、データ管理、分析に関するものと的確に行われている。データの集積・分析・課題の抽出と対策が、一定の方針のもとに適確に進められている。QI事業を医療の見える化と位置付け、医療関係者はもとより患者・国民に対する見える化を進めている。報告書がビジュアル的にとても見やすい。医療の質にかかわる指標を急性期から慢性期について網羅的に策定している。また、指標を基にした研修会の実施もなされている。報告書も非常にわかりやすい。交流会、成果発表会を全体で行っており、統制がとれている。報告書が読みやすくまとまっている。外部評価結果が詳しく、現状が一目でわかるので大変理解しやすいなど上げられています。問題点としては、民医連に所属している病院のすべてが、ホームページでQI事業に関する情報をアップしているわけではないこと。今後の取組に対する意見等では、それぞれの病院のホームページから、患者がQI事業について知り、その病院の改善事例を知ることができるように、公表の方法を工夫してほしい。非常に優れた取り組みで、今後もぜひ継続していただきたい。本事業に関するノウハウを、他の団体に伝える機会を設け、積極的に広げてほしいなどです。

## <2014年報告の特徴-新指標>

2014年は85病院がエントリーし、新たに7指標を加えて33指標になりました。4年間の報告率84%の実績を積み上げ、重要な基盤を作っていました。新たに加えた指標は、クリパス使用率、注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの血液暴露事例件数、総黄色ブドウ球菌検出患者の内のMRSA比率、アルコール手洗い洗剤使用割合、高齢者への認知機能スクリーニングの実施、誤嚥性肺炎に対する嚥下評価・訓練実施割合、退院時共同指導料算定率の7指標です。個々の指標の分析・考察は、指標ごとに記載しています。指標ごとに回収率に差があり、データ回収に手間がかかっていることも影響していると考えます。回収率向上のために、集約方法について意見交換する機会が必要と思われます。

## <DPC情報を活用したQI事業の開始>

2011年から開始した「QI事業」と並行して、2014年からDPC情報を活用した「QI事業」もDPC病院を中心に行ってきました。データ提出加算が義務化されたためDPC病院以外も含め39病院が参加しています。DPC情報を活用して急性期医療の質に関わる「22指標45項目」の測定を新たに開始しています。2014年5月からは、民医連のホームページからDPC情報のアップロードを開始・集約するとともに、QIP(京都大学)から民医連QIシステムの測定数値が送られ分析・公開システムを稼働(一部指標除く)させています。2015年5月には、全ての指標の分析・公開システムの点検が終了して稼働する予定です。

## <今期の4つの課題>

今期の課題は、1)日常医療活動の分析・改善につながるQI活動の前進(DPC情報を活用したQI活動の開始、データの質・分析の向上等)、2)地域医療を担う中小病院のQI指標の体系化・バージョンアップ、3)住民・共同組織との参加・連携の開始と見える化の工夫、4)第2回QI交流集会の開催です。

QIデータの活用、成果の可視化、住民・共同組織との共同したとりくみでの活用、ICTとの連携などをすすめています。また、指標のバージョンアップについては、2015年QI事業はマイナーチェンジにとどまりますが、2016年には指標の体系化・見直しを予定しています。そのために2014年QI事業報告と合わせてQI交流集会を開催します。各方面から意見をお寄せください。

# 外部評価委員からの考察

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 特定講師 猪飼 宏

「医療の質の向上・公開推進事業」は、満5歳を迎えました。10病院で試行的な測定を開始した2010年度以来、着実に測定を重ね、算出の工夫や改善事例の共有を繰り返しながら、尚も成長を続け、現在は85病院34指標に至りました。また、各病院が単に自病院の取り組みとして参加するのみならず、全日本民医連のプロジェクトとして互いに連携しながら、新規参加病院へ指標算出の工夫を共有したり、取り組みの長い病院でも改善のための組織作りを固められるなど、多軸的に実績を積み上げて来られたことは大変大きな成果かと存じます。日々の測定と改善にご尽力の各病院の皆様、並びに大きなビジョンを持ってプロジェクトをリードしておられる事務局の皆様に敬意を表します。

参加85病院中、少なくとも1指標以上データを提出されたのは83病院と、昨年よりも参加病院が増えただけでなく、参加率も改善しています。但し、全指標の報告率は77%とやや低下しています。新規参加病院が初年度からすべての指標を提出するにはかなりのエネルギーを要しますが、規模の大小を問わず測定の実績を上げている病院も多数あることから、少しでも多くのデータを提出・共有できるように工夫を重ねて頂ければと思います。

各指標を概観すると、多くの指標で平均値や中央値は改善しているように見える一方、指標10（転倒転落）・指標15（周術期抗菌薬）・指標18（救急車応需率）・指標26（ケアカンファレンス）など、ほぼ横ばいの指標も増えてきました。測定に手間がかかる指標や、多くの病院が合格圏に達しつつある指標については、測定率を下げる原因になりやすいことから、測定の頻度やその意義を定期的に見直し、診療現場への過重なご負担を避ける工夫は今後も必要かと思われます。

指標22（アスピリン）・指標23（糖尿病）はガイドライン等の根拠に基づくプロセス指標であり、改善すべき方向は明確ですが、参加病院の構成の変化や、データ提出率の低下を受けてか、全体として今年度は若干の低下が見られています。改善活動の共有から一步踏み込んで標準化につなげられると、新規参加病院へもスムーズに展開できるかもしれません。

指標1（身体抑制）・指標2（褥瘡）・指標12（中心静脈）については事象の増減のほか、報告頻度やカルテ記載の質にも影響されます。他病院との比較はとりわけ困難ですが、継続的な測定自体が関心を持続して診療改善をもたらす可能性が高いといえます。

指標25（リハビリ）・指標21（胃がん術後入院）については、多数の病院で昨年よりも大幅に改善し、急性期病床としての価値が高まっていることが伺われます。

指標4（死亡退院）・指標17（再手術）・指標19（心拍再開）・指標20（肺炎死亡）など、頻度の低いアウトカム事象を見る場合には、一例の増減により「率」が大きく振れます。変化の解釈や改善のためには個々の事例にまで立ち返っての検討が必要です。

指標5（剖検率）・指標7（退院サマリ）・指標8（職業歴）・指標28（紹介率）など、測定方法や解釈にブレが少ないプロセス指標は、本来改善に活用されやすいはずですが、概ねほぼ昨年並みで、かつ病院間でのバラつきはまだまだ大きいと言えます。改善の余地が大きな病院へ事例の共有を進めつつ、すでに優れた取り組みを行っている病院でも新たな改善策を考える必要があるでしょう。

指標6（採用薬）・指標29（在宅）・指標31（副作用）・指標32（社会支援）・指標33（カルテ閲覧）は病院の性格を知る手がかりになりますが、直ちに明確な行動目標につながるわけではありません。各病院での結果活用のあり方を調べつつ、指標の意義を定期的に確認する必要があります。

また、今年度からはDPCデータを用いた指標算出に向けて、DPC参加／準備／データ提出病院計42病院からデータの集約が行われ、若干の分析の遅れが見られるものの、三十余りの指標が算出されています。DPCデータによる臨床指標の算出は、一元的に同じ条件による分析を行うことで客観的な比較を定期的に手軽に行えるメリットがあり、積極的な活用が期待されます。一方で、限られた臨床情報・診療行為情報から適切な指標を開発するために知恵を集めることや、算出された指標値は自らの手を経た数字ではないため、各病院でデータを確認できる体制を作ることもまた重要なポイントです。

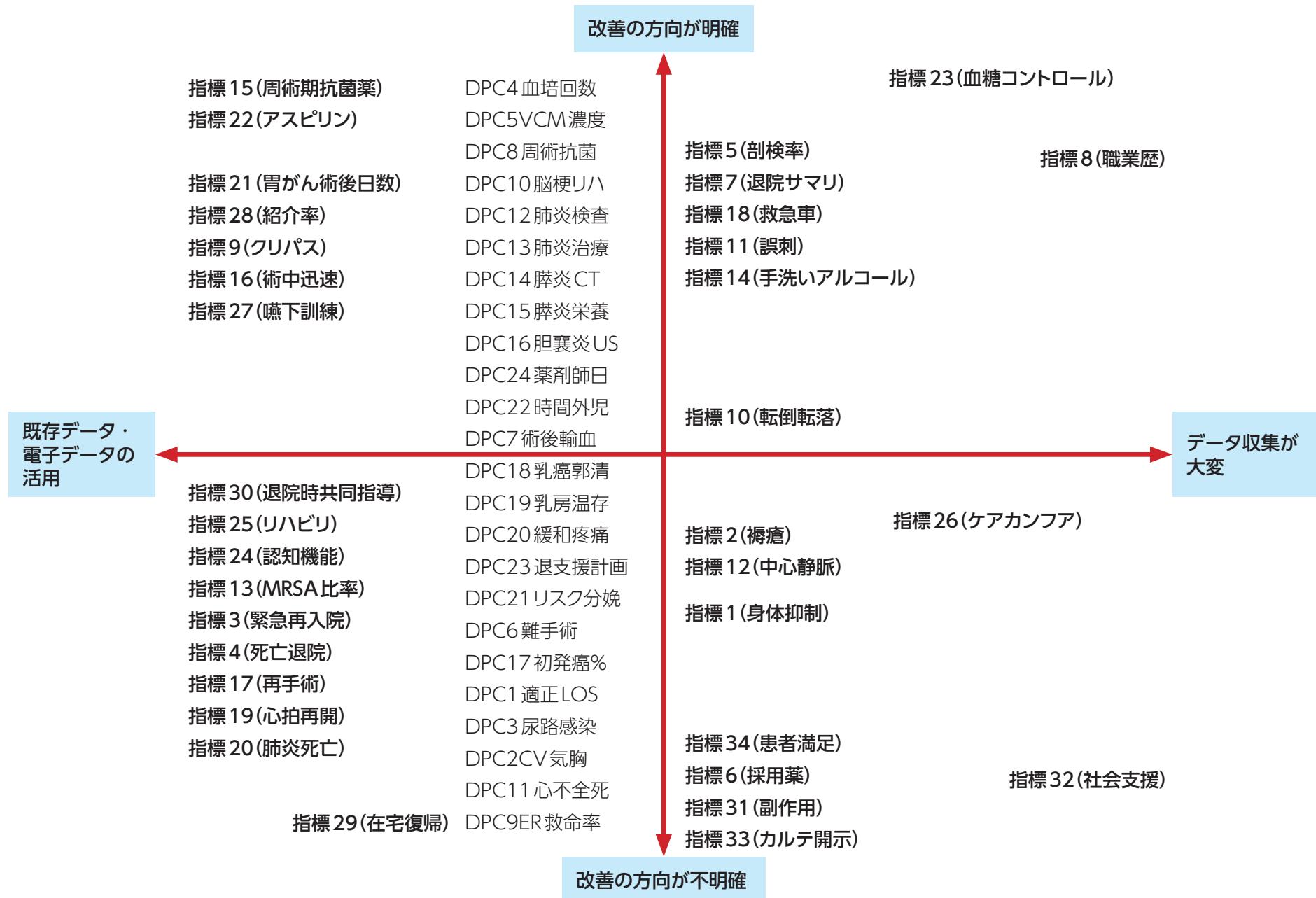
各病院の診療情報管理士を中心として限られた体制の中でデータを活用していくことには多くの困難を伴うと思われますが、地域医療ビジョンの策定に向けた病床機能報告制度など病院自身によるデータ分析への期待がますます高まる中、時代の先を読みながら的確にデータを扱う力を相互に育む場としても、本プロジェクトを通じた各病院のネットワークには大きな意義があると感じます。

さらに、2014年の年間報告会には、初めて「患者の視点」を取り入れられました。基調講演においても、医療の質指標を読み解くために、また質向上に向けた計画作りにおいて、職員のみならず患者や市民の声を反映するためのコミュニケーションの重要性が提起されました。QI事業や臨床指標を広報活動に活かしておられる実践例も併せて報告されるなど、展開の可能性は十分にあり、QIプロジェクトとして今後注力すべき一つの方向性が示されたかと思います。

また他病院団体との関係においては、算出定義の統一や算出方法・改善事例の共有、さらには本プロジェクトから生まれたオリジナルな指標を世に問うことも引き続き重要になるでしょう。

今後ともQIプロジェクトを通じて多くの病院で医療の質が向上し、患者・住民がより健康に、医療者も一層元気にご活躍されることを祈念いたします。

## 外部評価委員からの考察



# 外部評価委員からの考察

公益財団法人 日本医療機能評価機構 執行理事 橋本廸生

全日本民医連のQI推進事業の委員会に、平成26年度の集計結果が集約されて報告書ドラフト検討の開始あたりから参加させていただいている。本事業は平成23年度から25年度まで、厚労省の「医療の質の向上・公開推進事業」に採択され、これによって、指標の検討、収集、評価、成果の共有と公開の経験を着実に身につけてきたと思われます。83病院の病床規模は中央値が183床と計算されます。我が国全体の病院病床規模(精神科を除く)が中央値で120床程度と計算されますので、小～中規模の病院群のQIとして興味深く拝見させていただいている。同時に、データ収集能力の高い組織であると率直に思います。敬意を表します。

以下に、委員会での議論等を通して考えたいいくつかの点について述べたいと思います。参加させていただいた日も浅いので、主として、方法論に関連するものです。過去に議論が終息している内容であれば、ご容赦ください。

## 1)今後の解析のために、扱うデータの特性を理解して各指標をながめよう。

「比」と「割合」と「率」は混同されて使われることの多い数値ですが、統計学では厳密には全て異なる概念とされ、次のように定義されています。

- ・比(ratio):お互いに相手を含まない別々の値を割ったもの。分子と分母の値の単位を組み合わせた次元を持ち、値に制限はない。
- ・割合(proportion):分子が分母に含まれる分数。次元を持たず、0～1の間の値になる。
- ・率(rate):単位あたりの変化量。単位の逆数の次元を持ち、値に制限はない。

本事業で提示している各指標はこの定義からいうと、表現は「・・率」ですが、数値特性としては「割合」であることが判ります。

慣例として、「割合」を百分率(%)で表現しているわけです。だからといって、今さら表現を訂正することは混乱を招きますので必要ありませんが、解析のためには知っておいてよいかと思います。

## 2)「割合」という統計量の解析には注意が必要です。

「割合」の分布を表現するために、中央値を代表値とする四分位数を利用しています。計数値のように正規分布を想定して平均値や標準偏差で集団特性を集約して表現することが、「割合」の取扱いでは適切ではないからです。該当する全ての指標でそのように処理されており、妥当だと思います。さて、では「割合」と「割合」の相関関係を検討したくて、散布図で回帰直線をひく処理はどうでしょう。実例があります。指標10の追加的分析として、「損傷レベル4以上の転倒・転落発生率」をタテ軸に、「報告のあった入院患者の転倒・転落発生率」をヨコ軸に、散布図が描かれ回帰直線がひかれています。この処理の当否の理解は難しいところです。なにを検証したいのかを先ず明確にすべきでしょう。ここでは、「割合」に集約されたそれぞれの統計量は等価ではないのにもかかわらず、あたかも等価と見てしまって処理をする分析手法には注意すべきと指摘するにとどめさせてください。

## 3)理想的な処理の指標もあります。

指標20:市中肺炎患者死亡率(成人)の処理です。リスク調整を施した指標に仕立てています。日本呼吸器学会のガイドラインに従って重症度別に分類し、その重症度別に死亡率を観察することと、総体として標準化死亡比として評価することをしています。つまり、全体の平均的治療能力であれば、当該病院の患者構成では予測死亡数はどれだけかを計算し実際の死亡数と比較するわけです。もちろん分母のn数が少ない場合は注意が必要です。

さて、指標20:市中肺炎患者死亡率(成人)は診療のアウトカム指標です。この治療プロセスを表現する指標があつたら興味深いですね。診療ガイドラインで推奨されるクリティカルなプロセスは存在しないのでしょうか。これを指標化できたら、その関係を見たいものです。または、この疾患のクリパスが存在するかどうか、およびその適応率でどう説明できるか、などQIの分析効果が大きな影響をもつ可能性があります。

## 4)質の管理はバラツキの制御、という観点も重要です。

A病院の中で、臨床指標Xが消化器内科で、また指標Yが呼吸器内科で測定されているとします。この二つの診療科の質の管理のレベルを比較できるでしょうか。もともと異なるものをそのままでは比較できません。成績の向上に加えてバラツキの制御がどの位できているかの観点です。計数値であれば、標準偏差の値を平均値で除した数値をみる方法があります。平均値1単位あたりのバラツキですから比較可能です。この統計量を「変動係数」といいます。例えば、「小学生の成長のなかで、体重と身長ではどちらがバラツキがあるのだろう」を確認することができます。

現行の各病院から提出される集約された「割合」データでこの処理はできませんが、各病院内で質を管理していくときの有効な方法です。試してみてはいかがでしょう。

以上、委員会の議論に参加させていただいた触発されて考えた諸点です。この他にもいくつか述べたいことはありますが、次の委員会や交流集会での機会をまちたいと思います。

# 2014年民医連QI推進事業年間報告の注釈・公開とWebシステム

## ● 2014年民医連QI推進事業報告の注釈

2014年民医連QI推進事業については、①病院基本情報、②共通分母、③指標の定義・解釈と考察、④「数値一覧表」、⑤「グラフ表示」の構成で報告します。

### 1. 病院基本情報

各病院の基本的な規模・機能(病床数・病床機能、DPC病院・基幹型臨研病院・近接診療所の有無等)を「病院基本情報一覧表」にしています。各指標の数値・分析の前提として参考にして下さい。

### 2. 共通分母

各指標の計算に必要な「共通分母」は、A)入院患者延べ数～G)平均在院日数まで年間月平均を一覧にしています。

### 3. 指標の定義・解釈と考察

ここでは、指標毎の定義、指標算定式とその分母・分子の解釈、2014年の数値の分析と考察をまとめています。尚、指標の定義と解釈のQ & Aは、別冊を参照下さい。

### 4. 数値一覧表

「数値一覧表」における「-」は、該当指標だが測定数値が回答されていないか、元々非該当指標であるかのどちらかの表示です。「0(数字のゼロ)」は、測定したが、実績がゼロであるという表示です。数値は、小数点二桁まで表示しています。今回も経年比較を行っています。「2013年間月平均」、「2014年間月平均」、「最小値」、「25%数値」、「中央値」、「75%数値」、「最大値」が表示されています。

### 5. グラフ表示

「グラフ表示」は、指標毎の数値を棒・線グラフと四分位数グラフ(箱ひげ図)で「見える化」し、出来るだけ分析・考察に活用できるように工夫しています。また、経年比較がわかりやすいように「2013年間月平均」と「2014年間月平均」の2本の棒グラフを表示しています。今回も、いくつかの指標で病床数などによる散布図を追加しています。散布図では、参考にY値及びR値の相関関数を示しています(\*)。今後も引き続き「見える化」の改善をしていきます。

- ①指標5, 6, 20, 31, 33を除き、その他の指標は、年間月平均値(加重平均)でグラフ表示しています。
- ②指標1～4, 6, 9～10, 12～14, 17, 20～21, 24, 27, 30は昇順、5, 7～8, 11, 15～16, 18～19, 22～23, 25～26, 28～29, 31～34は降順で表示しています。
- ③各指標の2013年間月平均、2014年間月平均の中央値を表示しています(指標10を除く)。
- ④手術関連の指標では、分母0、分子0の場合は、中央値の計算、グラフに反映されないよう除外しています(該当なしと判断)。

#### 【指標毎グラフ表示の注釈】

##### I 病院全体・医療安全・感染

- 「指標2:褥瘡新規発生率」、「指標4:死亡退院患者割合(精死亡率)」、「指標7:退院後2週間以内のサマリー記載割合」、「指標12:中心静脈カテーテル関連血流感染」は、縦軸を割合(年間月平均)、横軸を病床数の散布図を表示しています。
- 「指標4:死亡退院患者割合(精死亡率)」は、全病院と病床規模別月平均(①100床未満、②100～199床、③200～299床、④300床以上)に分けてグラフ表示しています。
- 「指標5:剖検率」のグラフは、率ではなく件数(年間合計)を表示しています。
- 「指標6:A)採用薬品数、B)新規採用数」のグラフは、病床数とA)採用薬品数(12月最終値)をプロットし、Excelの機能により一次近似の線を加えています。また、棒グラフは、A)採用薬品数(最終値)／B)新規採用数(年間合計)の数値を表しています。
- 「指標10:A)報告のあった入院患者の転倒・転落発生率、B)治療を必要とする転倒・転落発生率、C)損傷レベル4以上の転倒・転落発生率」は、①縦軸をA(年間月平均)、横軸を病床数、②縦軸をB(年間月平均)、横軸をA(年間月平均)、③縦軸をC(年間月平均)、横軸をA(年間月平均)の3種類の散布図を表示しています。

## II 手術関連

- 「指標15：予定手術開始前1時間以内の予防的抗生素投与割合」は、縦軸を割合(年間月平均)、横軸を病床数の散布図を表示しています。
- 「指標17：A) 入院手術患者の術後48時間以内緊急再手術割合、1入院期間中の手術後30日以内緊急再手術割合」は、入院手術数の合計が年間5件以下をグラフから除外しています。

## III 救急医療

- 「指標18：救急車受け入れ割合」は、縦軸を割合(年間月平均)、横軸を病床数の散布図グラフを表示しています。

## IV 個別疾患

- 「指標20：市中肺炎患者死亡率(成人)」のグラフは、標準化死亡比を算出し表示しています(1を基準に1以上は死亡率が高い、1以下は死亡率が低い)。「標準化死亡比年間平均」「A) 軽症～D) 超重症の市中肺炎患者死亡率」のグラフを表示しています。
- 「指標25：リハビリテーション実施率」は、各病院を病床規模別(①100床未満、②100～199床、③200～299床以上、④300床以上)に分けてグラフ表示して工夫しています。

## VII 人権の尊重

- 「指標31：医薬品副作用被害救済制度申請数」は、A)申請数年間合計、B)副作用数年間合計をグラフ表示しています。
- 「指標32：社会資源活用により療養支援できた相談者の割合」のグラフは、A)無低診対応件数、B)短期保険証相談件数、C)資格証明書相談件数、D)無保険相談件数のそれぞれ相談件数を合算したグラフを表示しました。また、患者規模(1日平均入院患者数 + 1日平均外来患者数(近接診療所含む)/3の年間平均)を分母にして相談者の割合をグラフ表示しています。

## ●2014年民医連QI推進事業報告の公開について

- 2014年度は、厚労省事業には応募していませんが、継続して一般公開していくことが求められています。民医連QI推進事業参加85病院は、2013年度に一般公開した指標に準じて、2014年度も全日本民医連ホームページに公開いたします。尚、会員用ページには、全指標を公開いたします。

## ●民医連QI推進事業Webシステムについて

- 「民医連QI推進事業」の大きな特徴は、迅速で正確な入力・共有・分析のための「医療指標の入力・集約・分析・公開Webシステム」を導入していることです。
- その主な内容は、①実績月を翌月末までに入力、その翌々月から公開・活用(点検後)できること(一ヶ月後の活用)、②県連・規模・機能別病院や測定期間が選択できるとともに、指標毎の数値一覧とグラフ表示が、自動表示され分析・考察に即時活用できること(自動表示)、③病院毎の「時系列推移表」の機能があり、時系列での分析・改善の推移が表示できること(時系列表示)、④「経年グラフ分析表」を導入し、2年単位で比較できることです。
- 2013年度からは、作業の効率化のため、表・グラフのPDF一括ダウンロード機能を追加し、表・グラフのダウンロード操作を改善しています。
- 2014年度からは、①「病院毎の月別分析出力」と、②「指標毎数値一覧表A4縦表示」が可能になりました。  
現在、「全指標の表・グラフ一括表示(PDF)」と「経年比較3年単位」の機能追加に向けて、システム改修を行っています。稼働して4年であり、「早さ」と「分かり易さ」と「自動化(現場の負担軽減)」を目標に、さらに現場で活用・改善に生かされるシステムにしていきたいと思います。
- 尚、この報告で利用している「Q I」とは、「Quality・Indicator・Improvement」の頭文字であり、「質向上の指標・改善」の意味で使用しています。

\* Y値相関関数：分布図の縦軸をx、横軸をyとおいた、最小二乗法による近似直線を表す一次関数 $y = ax + b$ 。aは直線の傾き、bは切片。

\* R値相関関数：横軸(事柄A)と縦軸(事柄B)の値の関係の強さを表した数値。範囲は-1～1。値が正の場合、「事柄Aが高い(大きい)と事柄Bも高い(大きい)」。およそその傾向として、0.20未満：「相関がない」、0.20～0.40未満：「弱い相関」、0.40～0.70未満：「中程度の相関」、0.70以上：「強い相関」と言える。

**民医連QI推進事業参加病院基本情報**

	県連	病院	許可病床				許可 病床数 合計	再掲				近接 診療所	無低 診療所	DPC 病院	基幹型 臨研 病院	厚労省 事業 参加 病院	外科 あり	回復期 リハ	配布型 カルテ 開示
			A-1) 一般 病床数	A-2) 療養 病床数 (医療)	A-3) 療養 病床数 (介護)	A-8) 精神 病床数		A-4) 地域包 括ケア 病床数	A-5) 回復期 リハ 病床数	A-6) 緩和 ケア 病床数	A-7) 障害者 病床数								
1	北海道	勤医協中央病院	450	0	0	0	450	0	50	24	0		○	○	○	○	○		
2		苦小牧病院	42	38	0	0	80	0	38	0	0		○			○	○		
3		一一条通病院	114	54	0	0	168	0	54	0	54	○	○			○	○		
4		函館稜北病院	56	48	0	0	104	10	48	0	0	○	○			○			
5	青森	健生病院	282	0	0	0	282	0	60	0	0	○	○	○	○	○	○		
6		あおもり協立病院	133	90	0	0	223	0	90	0	0	○	○	○	○	○	○		
7	岩手	川久保病院	60	60	0	0	120	10	60	0	0		○			○	○		
8	宮城	坂総合病院	357	0	0	0	357	0	46	0	0	○	○	○	○	○	○		
9		長町病院	45	90	0	0	135	12	90	0	0		○		○		○		
10		泉病院	94	0	0	0	94	0	39	0	0	○	○			○	○		
11	秋田	中通総合病院	450	0	0	0	450	0	0	0	0		○	○		○			
12	山形	本間病院	104	50	0	0	154	12	0	0	40	○	○			○			
13		鶴岡協立病院	199	0	0	0	199	0	0	0	126	○	○			○	○		
14	福島	医療生協わたり病院	135	61	0	0	196	0	57	15	0		○		○	○	○		
15	群馬	前橋協立病院	169	30	0	0	199	0	48	0	0		○		○	○	○		
16		利根中央病院	282	0	0	0	282	0	0	0	0		○		○		○		
17	埼玉	埼玉協同病院	401	0	0	0	401	0	50	24	0		○	○	○	○	○		
18		埼玉西協同病院	50	0	0	0	50	16	0	0	0		○		○	○	○		
19		熊谷生協病院	50	39	16	0	105	24	0	0	0	○	○		○	○			
20		秩父生協病院	35	40	0	0	75	0	35	0	0		○		○	○	○		
21	千葉	千葉健生病院	53	0	0	0	98	0	45	0	0	○	○		○	○	○		
22		船橋二和病院	260	39	0	0	299	0	31	0	0	○	○	○	○	○	○		
23	東京	みさと健和病院	282	0	0	0	282	0	36	20	0	○		○	○	○	○		
24		小豆沢病院	94	40	0	0	134	45	40	0	0				○		○		
25		大田病院	189	0	0	0	189	0	50	0	0	○	○		○	○	○		
26	東京	東葛病院	295	36	0	0	331	0	32	0	51	○	○	○	○	○	○		
27	神奈川	中野共立病院	110	0	0	0	110	10	55	0	0	○					○		
28		立川相互病院	350	0	0	0	350	0	38	0	0	○	○	○	○	○	○		
29		王子生協病院	159	0	0	0	159	0	42	25	45				○		○		
30	新潟	汐田総合病院	153	108	0	0	261	0	58	0	49		○	○	○	○	○		
31	新潟	下越病院	261	0	0	0	261	0	36	0	44		○	○	○	○	○		
32	石川	城北病院	224	90	0	0	314	41	46	0	0	○	○	○	○	○	○		
33	山梨	甲府共立病院	283	0	0	0	283	0	0	0	0	○	○	○	○	○			
34		巨摩共立病院	103	48	0	0	151	0	50	0	0		○		○		○		
35		石和共立病院	99	0	0	0	99	0	50	0	0		○				○		
36	長野	長野中央病院	322	0	0	0	322	0	56	0	0		○	○	○	○	○		
37		健和会病院	129	71	0	0	199	8	38	0	0		○	○		○	○		
38		諏訪共立病院	56	54	0	0	110	0	54	0	0		○		○		○		
39		松本協立病院	199	0	0	0	199	8	0	0	0		○	○	○	○	○		
40	岐阜	上伊那生協病院	56	108	0	0	164	8	56	0	0		○		○		○		
41		みどり病院	99	0	0	0	99	0	45	0	0	○	○	○	○	○	○		
42	静岡	三島共立病院	84	0	0	0	84	20	0	0	30		○				○		

# 民医連QI推進事業参加病院基本情報

	県連	病院	許可病床				許可病床数合計	再掲				近接診療所	無低診療所	DPC病院	基幹型臨研病院	厚労省事業参加病院	外科あり	回復期リハ	配布型カルテ開示
			A-1) 一般 病床数	A-2) 療養 病床数 (医療)	A-3) 療養 病床数 (介護)	A-8) 精神 病床数		A-4) 地域包 括ケア 病床数	A-5) 回復期 リハ 病床数	A-6) 緩和 ケア 病床数	A-7) 障害者 病床数								
43	愛知	協立総合病院	434	0	0	0	434	0	0	16	0			○	○	○	○		
44		総合病院南生協病院	313	0	0	0	313		0	20	0			○	○		○		
45		北病院	52	0	0	0	52	0	0	0	0				○	○			
46		名南病院	158	0	0	0	158	40	0	0	0		○		○	○			
47		千秋病院	198	96	0	0	294	50	48	0	0			○	○	○	○	○	
48	三重	津生協病院	103	46	0	0	149	0	0	0	53	○			○	○	○		
49	京都	京都民医連中央病院	361	50	0	0	411	50	54	14	40	○	○	○	○	○	○	○	
50	大阪	東大阪生協病院	99	0	0	0	99		48	0	0	○	○			○	○		
51		西淀病院	218	0	0	0	218	54	54	0	23	○	○		○	○	○	○	
52		耳原総合病院	386	0	0	0	386		37	23	0	○	○	○	○	○	○		
53		コープおおさか病院	166	0	0	0	166	8	54	0	0		○		○	○	○	○	
54	兵庫	東神戸病院	140	48	0	0	188	14	48	21	0		○			○	○		
55		尼崎医療生協病院	199	0	0	0	199	51	0	20	0		○	○	○	○	○		
56	奈良	おかたに病院	100	50	0	0	150	25	50	0	0	○				○	○	○	
57		土庫病院	199	0	0	0	199	9	0	0	0	○	○		○	○	○		
58	和歌山	和歌生生協病院	149	0	0	0	149	34	43	0	0	○	○		○	○	○	○	
59	鳥取	鳥取生協病院	260	0	0	0	260	0	90	20	0		○	○	○	○	○		
60	島根	総合病院松江生協病院	333	0	0	0	333	0	57	0	118	○		○	○	○	○		
61		出雲市民病院	180	0	0	0	180	60	0	0	60					○			
62	岡山	総合病院水島協同病院	282	0	0	0	282	0	0	0	60			○	○	○	○		
63		総合病院岡山協立病院	318	0	0	0	318	0	46	17	50		○	○	○	○	○	○	
64	広島	総合病院福島生協病院	165	0	0	0	165	13	0	0	43	○		○	○	○	○		
65		広島共立病院	186	0	0	0	186	0	44	0	19		○	○	○	○	○	○	
66	山口	宇部協立病院	105	54	0	0	159	8	0	0	0		○	○		○			
67	徳島	徳島健生病院	186	0	0	0	186	0	24	0	85		○		○	○	○		
68	香川	高松平和病院	123	0	0	0	123	0	0	21	0	○	○		○	○	○		
69	高知	高知生協病院	114	0	0	0	114	20	0	0	0		○		○	○	○		
70	福岡	健和会大手町病院	527	0	0	0	527	0	0	0	108		○	○	○	○	○		
71		千鳥橋病院	336	0	0	0	336	51	0	0	52	○	○	○	○	○	○		
72		米の山病院	171	48	0	0	219	0	48	0	42		○	○	○	○	○		
73		みさき病院	48	96	0	0	144	0	48	0	48				○	○	○		
74	長崎	上戸町病院	60	44	0	0	104	0	44	0	0		○		○	○	○		
75	熊本	くわみず病院	100	0	0	0	100	14	0	0	0		○		○	○			
76	大分	大分健生病院	130	0	0	0	130	0	36	0	46	○	○		○	○	○		
77	宮崎	宮崎生協病院	124	0	0	0	124	0	0	0	30		○	○	○	○	○		
78	鹿児島	総合病院鹿児島生協病院	266	40	0	0	306	0	40	0	0	○	○	○	○	○	○		
79		国分生協病院	90	39	0	0	129	0	0	0	0					○			
80	沖縄	沖縄協同病院	280	0	0	0	280	0	0	0	0		○	○	○	○	○		
81		とよみ生協病院	85	0	0	0	85	16	48	0	0					○	○		
82			230	0	0	0	230	60	60	0	60	○	○		○	○	○		
83			267	0	0	0	267	0	92	0	54	○	○		○	○	○		
84			172	0	0	0	172	0	51	0	81	○	○		○	○	○		
85			114	0	0	0	114	52	0	0	0	○	○			○			

# 共通分母表

共通分母	A) 入院患者延べ数(24時住院患者+退院患者数の合計)		B) 調査月の新入院患者数		C) 前月最終日在院患者数(24時現在)		D) 退院患者数		E) 病院外来患者(1日平均)		F) 近接診療所外来患者(1日平均)		G) 平均在院日数	
	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年
勤医協中央病院	12041.17	12923.17	801.50	891.00	346.83	374.25	798.42	889.83	435.75	505.17	328.33	—	15.0	14.5
吉小牧病院	—	2419.00	—	80.60	—	74.90	—	81.20	—	258.60	—	0.00	—	29.9
一条通病院	4271.67	4334.25	108.50	111.25	129.50	134.33	107.67	112.00	94.75	84.08	178.00	170.83	39.5	38.8
函館棲北病院	2883.82	2940.67	73.55	66.50	90.27	89.50	75.36	66.17	97.73	132.83	293.67	265.17	38.7	44.0
健生病院	8581.00	8621.67	379.17	395.58	263.92	262.25	381.08	393.58	136.42	140.08	477.42	477.75	22.5	21.8
あおもり協立病院	6858.67	6970.25	236.17	242.92	213.42	216.75	235.08	243.67	38.83	37.92	299.08	331.33	29.1	28.6
川久保病院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
坂総合病院	10044.17	9977.67	528.17	541.67	304.17	302.17	529.42	541.75	226.75	197.75	596.17	586.42	18.9	18.4
長町病院	3676.83	3745.75	62.25	79.25	115.00	120.42	62.08	79.08	216.67	219.08	0.00	0.00	59.1	47.3
泉病院	2238.33	2267.27	56.25	60.45	71.17	72.55	56.25	60.18	127.00	122.36	17.67	17.82	39.7	37.5
中通総合病院	11831.89	11535.83	653.22	666.58	363.33	348.42	661.22	664.83	739.78	724.92	—	—	18.0	17.3
本間病院	4583.08	4623.75	125.00	120.75	144.92	147.50	125.08	121.00	84.58	87.83	210.50	202.17	36.6	38.2
鶴岡協立病院	5413.17	5488.58	226.00	214.58	175.50	178.67	227.17	215.42	215.33	218.83	192.00	181.17	23.8	25.5
医療生協わたり病院	4562.25	4673.73	183.08	203.18	138.75	148.18	182.17	205.36	302.33	302.36	—	—	24.9	22.8
前橋協立病院	5416.00	5426.83	242.25	240.25	166.50	166.58	243.08	238.50	423.00	414.00	—	—	22.3	22.6
利根中央病院	6042.42	5862.00	426.08	432.50	193.08	187.25	426.75	430.25	800.25	775.00	—	—	14.1	13.5
埼玉協同病院	9768.58	9382.92	645.00	670.83	294.17	286.92	643.58	695.92	1033.08	1016.75	—	—	15.1	13.7
埼玉西協同病院	1300.50	1338.00	75.50	87.83	38.50	150.00	75.42	87.75	126.42	135.42	—	—	17.2	15.2
熊谷生協病院	2228.50	2241.00	54.00	54.83	71.67	70.92	54.50	53.50	121.45	123.92	0.00	0.00	41.0	41.3
秩父生協病院	1594.67	—	18.92	—	50.83	—	17.92	—	70.92	—	—	—	86.5	—
千葉健生病院	2613.17	2583.00	106.25	86.33	81.50	81.50	106.17	86.08	13.25	11.83	301.33	280.58	24.6	29.9
船橋二和病院	7439.00	6826.08	424.75	426.83	227.00	211.42	426.58	425.75	96.25	104.75	539.00	514.67	17.4	16.0
みさと健和病院	7252.17	7280.83	440.42	452.17	228.42	231.58	441.83	449.42	97.67	96.58	674.17	658.75	16.4	16.1
小豆沢病院	3765.83	3802.00	123.42	124.08	121.75	118.58	138.67	138.42	172.27	99.158	0.00	—	28.7	28.9
大田病院	5701.92	5592.17	251.67	247.92	176.58	172.92	251.42	249.08	68.58	68.42	355.17	360.42	22.6	22.5
東葛病院	9041.50	—	442.50	—	315.00	—	445.50	—	92.50	—	712.75	—	20.3	—
中野共立病院	3368.08	3350.83	92.25	104.75	107.33	106.50	92.25	106.75	36.17	35.08	178.75	177.08	36.5	31.6
立川相互病院	9627.83	9528.33	592.83	619.50	308.50	308.33	593.00	619.25	281.08	287.58	670.08	651.00	16.2	15.3
王子生協病院	4382.00	4616.92	169.42	142.17	138.00	143.25	164.83	142.42	303.33	298.08	0.00	0.00	26.2	32.4
汐田総合病院	7020.92	7267.75	248.08	260.83	222.00	236.92	249.92	259.50	455.08	446.08	—	—	28.1	27.9
下越病院	7768.17	7747.25	321.08	336.75	244.50	246.92	321.25	336.17	414.75	399.25	—	—	24.1	23.0
城北病院	7669.42	7579.00	238.67	246.33	242.17	236.33	240.50	246.83	93.25	93.50	365.08	358.75	32.0	30.7
甲府共立病院	7182.67	7135.25	434.00	420.50	220.08	218.00	436.92	420.33	156.33	167.25	332.00	344.36	16.4	16.9
巨摩共立病院	3822.50	3988.92	91.17	90.67	121.00	127.58	90.17	87.58	311.33	291.33	—	—	42.1	44.7
石和共立病院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長野中央病院	9181.17	9371.17	509.08	539.33	298.83	285.08	509.67	539.83	787.58	766.92	—	—	18.0	17.3
健和会病院	5487.92	5567.75	223.83	230.08	158.50	170.17	224.67	228.83	431.17	421.50	—	—	24.4	24.2
諒訪共立病院	2969.67	2931.75	86.75	88.42	93.33	91.83	86.33	89.25	141.50	135.75	0.00	0.00	34.3	33.0
松本協立病院	4995.67	5067.67	310.33	295.00	146.67	157.00	308.75	296.67	469.92	455.67	0.00	—	16.1	17.1
上伊那生協病院	3841.83	3874.42	77.33	90.67	117.00	114.58	76.83	91.33	108.17	108.50	—	—	49.8	42.5
みどり病院	2481.58	2277.42	108.50	95.25	73.92	69.25	111.00	94.33	236.75	179.25	90.58	91.25	22.6	23.4
三島共立病院	2034.43	2101.92	54.86	62.67	64.43	67.83	52.14	62.50	134.29	133.33	—	—	38.0	33.5
協立総合病院	10240.75	9934.33	625.17	592.25	306.50	294.92	625.17	589.58	816.33	778.92	—	—	16.3	16.8
総合病院南生協病院	9164.80	—	615.20	—	266.00	—	603.40	—	932.70	—	—	—	15.0	—
北病院	912.67	775.83	47.25	52.25	29.08	25.42	47.50	52.50	275.42	268.58	—	—	19.2	14.8
名南病院	3999.08	3791.50	154.50	168.67	120.67	115.08	154.42	168.08	226.75	222.17	—	—	25.8	22.5
千秋病院	7891.92	8423.33	151.08	136.58	252.25	267.17	147.00	144.92	283.92	285.25	251.00	—	52.9	59.8
津生協病院	4235.58	4016.00	126.58	127.92	133.42	126.00	127.42	127.08	184.33	179.33	92.92	75.67	33.3	31.4
京都民医連中央病院	11899.92	11638.33	544.00	544.42	367.33	357.67	543.75	544.92	283.25	280.42	563.50	538.33	21.8	21.3
東大阪生協病院	2856.67	2848.00	82.67	87.75	93.17	93.75	83.33	88.67	214.83	185.67	—	—	34.4	32.2
西淀病院	6533.42	6502.30	244.42	249.90	202.17	203.60	245.17	258.60	63.83	114.00	394.58	362.00	26.6	25.5
耳原総合病院	9652.00	9876.67	749.92	770.67	278.83	283.75	751.83	765.67	407.25	411.92	249.17	259.25	12.8	12.8
コープおおさか病院	4886.83	4891.17	193.42	189.83	155.92	150.25	192.92	190.08	304.08	303.42	154.00	631.50	25.2	25.7
東神戸病院	4423.75	4464.92	146.33	143.42	138.67	141.08	146.83	143.42	300.67	282.42	0.00	—	30.1	31.1
尼崎医療生協病院	5450.75	5144.25	312.50	301.33	163.75	156.50	314.58	298.67	422.67	2646.50	—	169.00	17.3	17.1
おかたに病院	4327.58	4336.20	130.92	135.10	136.08	138.30	131.58	135.40	192.92	183.70	63.83	64.60	32.9	32.0
土庫病院	5283.92	5313.25	311.83	310.00	159.67	160.33	311.92	310.75	302.83	264.17	123.75	101.58	16.9	17.1
和歌山生協病院	3934.08	4008.25	137.42	143.00	119.42	123.25	137.83	142.92	25.08	25.75	165.42	157.17	28.5	28.0
鳥取生協病院	7285.25	6989.75	278.17	258.75	225.00	216.25	278.33	258.67	323.17	299.00	0.00	0.00	26.1	27.0
総合病院松江生協病院	8856.42	8747.33	284.83	284.75	271.67	272.00	286.83	283.58	55.33	55.92	410.08	405.42	30.9	30.7
出雲市民病院	4211.83	4403.42	103.50	110.50	134.25	138.17	102.75	110.17	190.17	177.75	43.00	38.71	40.8	39.9
総合病院水島協同病院	7147.08	7120.50	336.00	334.75	215.42	215.33	336.00	333.17	243.08	248.50	544.44	234.00	21.2	21.3
総合病院岡山協立病院	8575.67	8539.17	358.83	349.33	263.25	264.42	357.58	350.75	508.00	485.67	0.00	0.00	23.9	24.3
総合病院福島島生協病院	4123.92	4132.25	168.33	172.58	127.42	124.58	168.50	172.25	275.83	292.58	106.67	102.50	24.4	23.9
広島共立病院	5456.67	5484.58	273.08	280.25	169.08	163.00	273							